

草加八潮消防組合

消防力の整備指針・消防施設整備計画

概要版

草加八潮消防組合

拠点署所	常備消防：1局（本部）2署3分署1ステーション 非常備消防：草加市5分団14部・八潮市3分団19部
主要車両数	○常備消防 消防車 11台/救急車 12台/救助工作車 2台(うち高度1台)/はしご車 2台 化学消防車 2台/指揮車 2台/他 特殊災害対応車、司令車、後方支援車等 ○非常備消防 消防車（ポンプ車・積載車） 草加市14台／八潮市19台
職員・団員数	常備消防：337名 非常備消防：草加市211名・八潮市215名
構成市	草加市・八潮市
管内人口	339,349人（草加市248,488人 八潮市90,861人） ※平成31年1月1日時点
管轄面積	45.48km ² （草加市：27.46km ² 八潮市：18.02km ² ）
地 勢	河川：中川、綾瀬川、圀川、伝右川、毛長川ほか 鉄道：東武伊勢崎線 草加駅、谷塚駅、獨協大学前駅(草加松原)、新田駅 つくばエクスプレス線 八潮駅 道路：東京外かく環状道路（草加IC） 首都高速道路三郷線（八潮IC・八潮南ランプ） 国道298号、国道4号草加バイパス
広域化までの経緯	平成25年 4月 1日 草加市及び八潮市消防広域化協議会の設置 平成26年 2月 5日 草加市・八潮市が消防広域化重点地域に指定（県内初） 平成27年 1月30日 草加市・八潮市広域消防運営計画の策定 平成27年10月 1日 草加八潮消防組合設立 平成28年 4月 1日 草加八潮消防局・草加消防署・八潮消防署発足

平成31年4月1日時点



草加消防署 北分署



草加消防署 青柳分署



草加消防署 西分署



消防局・草加消防署



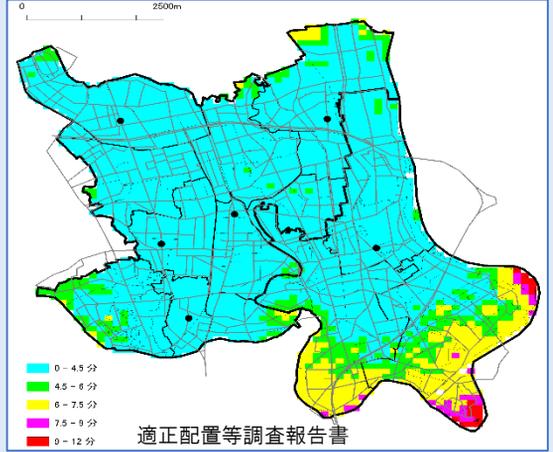
草加消防署 谷塚ステーション



八潮消防署

管轄区域全体を俯瞰した消防力の最適化

消防署所からの消防車両の走行時間（現状署所）



- 消防力の空白地域の解消
- 消防署所の適正配置に伴う消防力の段階的な整備
- 警防・救急出動区域の見直しを図る
- 宅地開発の進展と高齢化に伴う救急要請等への対応

施設更新の必要性

消防活動拠点として必要な施設性能の確保

消防局・草加消防署

- 消防局業務機能の集約化への対応
- 施設の老朽化と狭隘化に対応した計画的な整備
- 耐震性能や水防対策を満たしていない施設の再整備検討



健全な財政運営

限られた財源の効率的で効果的な活用

組合業務開始後3年間歳入歳出（決算額）

- 消防力を維持していくための計画的な財源の確保
- 財源を効率的で効果的に活用していくための財政平準化や長寿命化等の取組

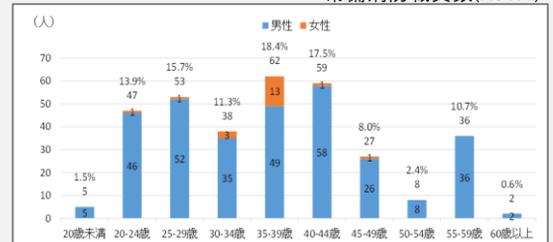


継続的な人材の確保と育成

豊富な経験と知識を有した消防職員と消防団員の確保

常備消防職員数(H31.4)

- 消防職員の年齢構成の改善と必要な人員の確保
- 消防団員の若い世代や女性を含めた継続的な人員の確保



地域住民の安全と安心を守り抜く盤石な消防体制の確立

1 消防組織体制の充実強化	<ul style="list-style-type: none"> (1)組織体制の基盤強化 (2)適正な定員管理の推進 (3)消防吏員の育成 (4)大規模災害時の業務継続体制の確立 (5)安全管理体制の強化
2 消防施設の充実強化	<ul style="list-style-type: none"> (1)消防署所の整備推進 (2)消防団施設の整備推進 (3)消防水利施設の整備推進
3 消防資機材の充実強化	<ul style="list-style-type: none"> (1)消防車両の整備推進 (2)消防・救助資機材と装備品の整備推進 (3)消防団車両・資機材・装備品の整備推進
4 消防情報通信体制の充実強化	<ul style="list-style-type: none"> (1)通信指令体制の充実強化 (2)通信指令設備の整備推進
5 火災予防体制の充実強化	<ul style="list-style-type: none"> (1)火災予防活動体制の充実強化 (2)火災調査活動体制の充実強化 (3)防火安全対策の普及啓発 (4)防火対象物の防火安全対策の充実強化 (5)危険物施設の事故防止対策の充実強化
6 災害対応力の充実強化	<ul style="list-style-type: none"> (1)指揮活動体制の充実強化 (2)消防活動体制の充実強化 (3)救助活動体制の充実強化 (4)特殊災害活動体制の充実強化
7 救急救命体制の充実強化	<ul style="list-style-type: none"> (1)救急活動体制の充実強化 (2)救命率向上対策の充実強化 (3)救急需要対策の充実強化
8 地域消防力の充実強化	<ul style="list-style-type: none"> (1)構成市危機管理部署との連携体制の充実強化 (2)消防団との連携体制の充実強化 (3)自主防災組織等との連携体制の充実強化
9 広域連携体制の充実強化	<ul style="list-style-type: none"> (1)広域連携支援体制の充実強化 (2)民間事業者等との連携支援体制の充実強化
10 消防行財政運営の充実強化	<ul style="list-style-type: none"> (1)消防局組織体制の充実強化 (2)消防局の業務効率化の推進 (3)安定的な消防行財政運営の推進

草加消防署(消防局併設) 再整備プロジェクト

重点事業 1



①整備概要

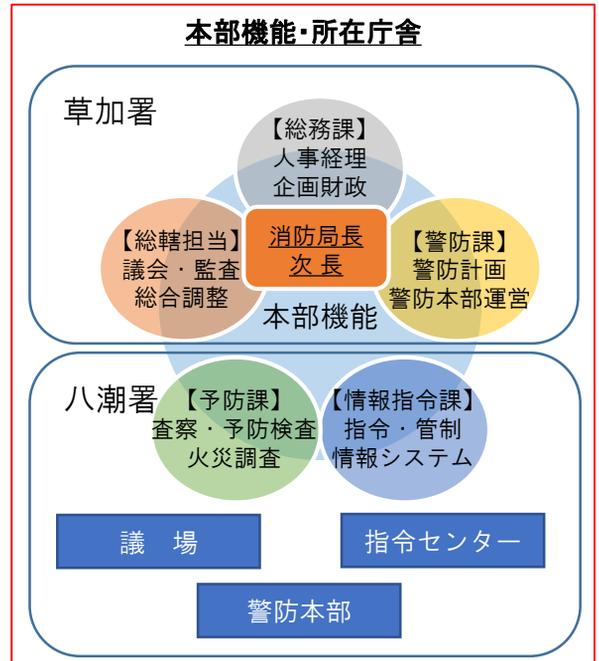
住民の生命と身体、財産を守るための司令塔としての役割を担う草加消防署の態勢強化を図るため、施設の適正配置及び適正な施設規模と機能に見合った、総合的な消防力の向上に資する施設として、消防局と草加消防署を併設一体型により再整備し、消防力の整備指針で示した新たな消防組織体制の再編を踏まえた、より強固な災害活動拠点としての消防体制の構築を目指します。

②整備に関する取組方針

現地建替えでは基本的に草加消防署の施設適正配置の課題解消につながらないことから、併設の消防本部機能の集約化の取組にも考慮し、草加消防署における消防力の空白地域の解消が図れることを前提とした上で、新たな敷地（移転）での建替えによる施設の再配置を進めます。

また、再配置に伴う草加消防署の管轄区域の南限である手代町は、（仮称）八潮消防署南分署が整備された際の管轄区域の再編と八潮消防署の消防力の適正配置に併せて、現在の草加市の稲荷の一部とともに、将来的には通行アクセスが良く近接している八潮消防署が管轄する方向で整備を進めます。

再整備に当たっては、国や県等からの財政支援、構成市等の関係機関と十分に連携・調整を図った上で、消防局に設置の消防指令システムの更新時期等も踏まえ、取組を進めます。



谷塚ステーション 分署化プロジェクト

重点事業 3



①整備概要

消防需要に見合った適正な消防施設の規模や機能等に不均衡が生じている谷塚ステーションの施設機能の強化を図るため、分署として施設機能を昇華させるために必要な施設ハード面を再整備し、消防力の整備指針で示した新たな消防組織体制の再編を踏まえた、より強固な災害活動拠点としての消防体制の構築を目指します。

②整備に関する取組方針

既存施設は竣工年が比較的新しく、建物も良好な状態であることから、隣接地の公有地を有効活用した、既存施設でのリノベーションによる再整備の手法など、費用対効果の面から、可能な限り整備費用の縮減と抑制に努めた整備手法を検証した上で、事業実現の迅速性や費用対効果の観点から最良の整備方針を定め、取組を進めます。

また、（仮称）八潮消防署南分署が整備された場合には、本組合管轄区域の南部地域全体を俯瞰した東西連携の強化が図られるなど、消防戦術上の運用効果の向上を念頭に置きつつ、構成市等の関係機関と十分に連携・調整を図った上で、併設の草加市消防団第1分団第2部とも連携・協調を図りながら、再整備に向けた各種検討、取組を進めます。

(仮称)八潮消防署南分署 整備プロジェクト

重点事業 2

①整備概要

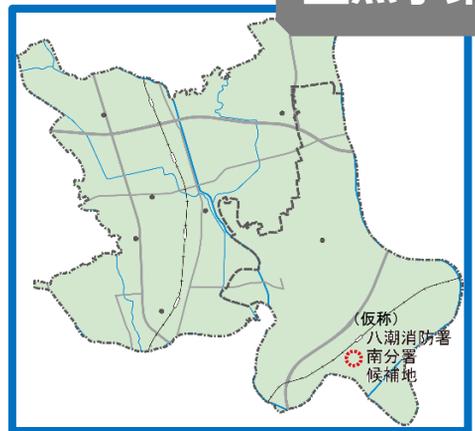
広域化後の新たな消防力の強化と均等化を図り、管轄区域全体を一体的かつ俯瞰した、適切で適正な消防力を維持していくため、八潮市の南部地域周辺に新たな消防施設として、(仮称)八潮消防署南分署を整備し、前章の消防力の整備指針で示した新たな消防組織体制の再編を踏まえた、より強固な災害活動拠点としての消防体制の構築を目指します。

②整備に関する取組方針

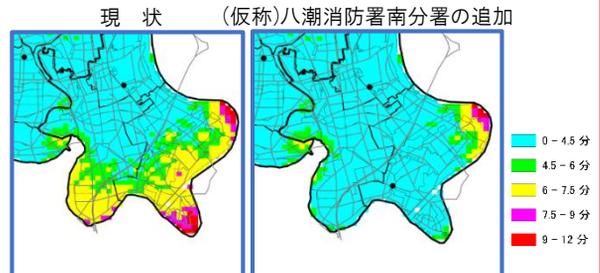
適正配置報告書において、八潮市の潮止橋以南の大瀬・古新田地区及び葛西用水以西の大曽根・浮塚地区を含む、八潮市の南部地域全体の運用効果が最大限発揮される理想的な位置として示された、八潮市茜町1丁目付近周辺のエリアを有力な候補地の一つとして、今後、関係機関等との連携・協調を図りつつ、住民への説明と理解を得ながら、整備に向けた各種検討及び取組を進めることとします。

また、草加消防署(消防局併設)再整備プロジェクトにおける八潮消防署との管轄区域の再編と八潮消防署の消防力の適正配置及び草加消防署谷塚ステーション分署化プロジェクトにおける、本組合管轄区域の南部地域全体を俯瞰した東西連携の強化を図るなど、消防戦術上の運用効果の向上を念頭に置き整備を進めます。

整備に当たっては、国や県等からの財政支援、構成市等の関係機関と十分に連携・調整を図った上で、取組を進めます。

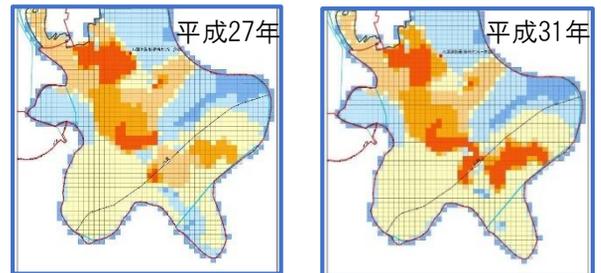


最先着ポンプ車の走行時間



出典：草加八潮消防組合消防力適正配置等調査報告書

八潮市人口密度



出典：左 平成27年国勢調査
右 市内住所別人口統計表/八潮市平成31年

青柳分署 再整備プロジェクト

重点事業 4

①整備概要

施設の老朽化と耐震性能の基準を満たしていない草加消防署青柳分署の施設機能の強化を図るため、第一線で消防活動を行うために必要な施設ハード面を再整備し、消防力の整備指針で示した新たな消防組織体制の再編を踏まえ、より強固な災害活動拠点としての消防体制の構築を目指します。

②整備に関する取組方針

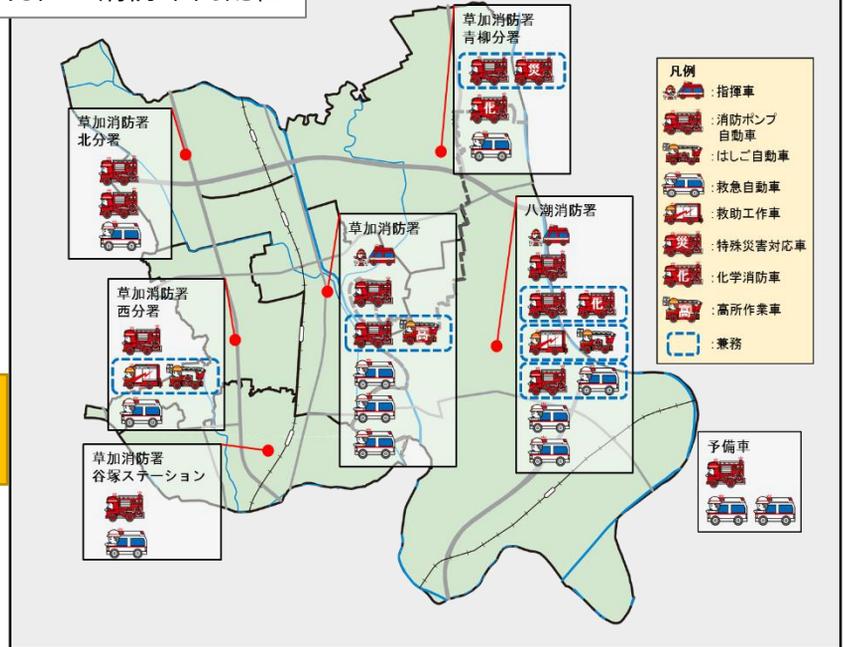
再整備に当たっては、早期に建物の安全性を確保していく必要がある一方で、建物のライフサイクルコスト(施設の計画から解体までに掛かる費用の総額)の縮減など、長期的な視点に立った、最小の経費で最大の効果を挙げられることにも注視していく必要があります。

このことから、耐震化の実施方針に基づき、①既存施設の耐震補強、②既存施設の耐震補強と大規模改修、③建替えた場合の各整備費用のトータルコストを比較検証した上で、事業実現の迅速性や費用対効果の観点から最良の整備方針を定めるとともに、構成市等の関係機関と十分に連携・調整を図った上で、併設の草加市環境業務センターとも連携・協調を図りながら、再整備に向けた各種検討、取組を進めます。



中長期的な視点から、広域化後の新たな消防力の全体像として
部隊の再編と消防車両の配備を示します。

現在の消防車両配置



○ 消防署の機能

指揮車 消防車 救急車
特殊車両(救助工作車等)

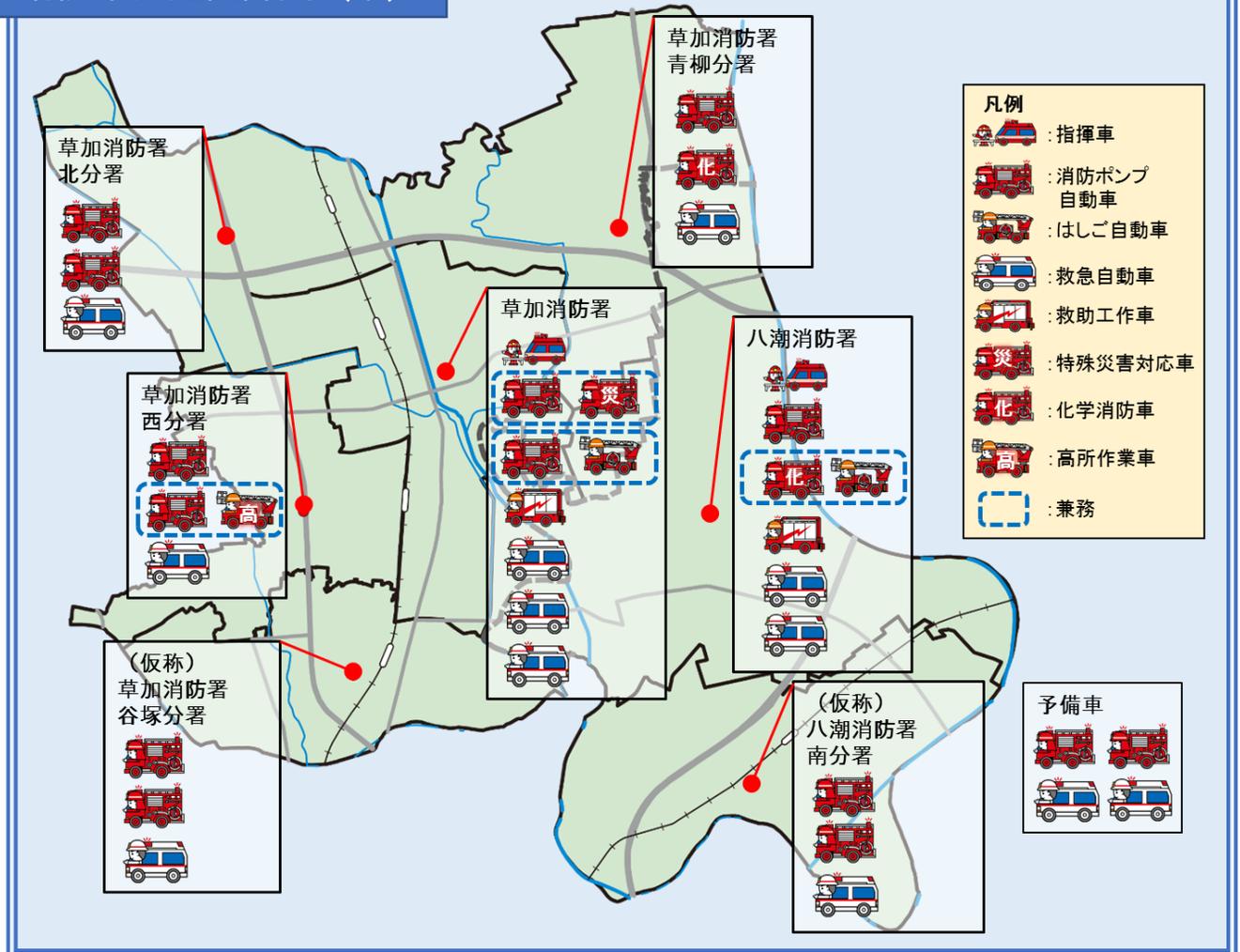
- ▷ 火災 救助 救急対応
- ▷ 防災拠点としての
応受援体制の対応
- ▷ 特殊災害対応

○ 分署の機能

消防車 救急車

- ▷ 火災 救助 救急対応

消防車両配置計画 (案)



施設整備に関する基本的考え方

- ① 施設の適正配置と再編の実施
- ② 計画的な維持管理・修繕・更新等の実施
- ③ 安全確保の実施
- ④ 耐震化の実施
- ⑤ 長寿命化の実施
- ⑥ 点検・診断の実施
- ⑦ バリアフリー・ユニバーサルデザインの実施
- ⑧ 環境と景観に配慮した整備の実施
- ⑨ PPP/PFIの活用

※PPP (Public Private Partnership) とは、公共施設等の設計、建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行い、民間の創意工夫等を活用することにより、財政資金の効率的な使用、及び行政サービス水準の維持や向上等を図るもの。PFIはその一類型。

消防施設保全計画

既存の消防施設の主要な改修事項に関する取組内容・整備費用の概算（今後10年間予定）

施設名	竣工年	経過年	費用概算 (百万円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
草加消防署	S43	51	—	事後保全	事後保全	事後保全	事後保全	事後保全	事後保全	事後保全	事後保全	事後保全	事後保全
西分署	H23	8	124							大規模改修 15年目			
青柳分署	S54	40	—	事後保全	事後保全	事後保全	事後保全	事後保全	事後保全	事後保全	事後保全	事後保全	事後保全
北分署	H11	20	717								劣化診断	実施設計	大規模改修 30年目
谷塚ST	H24	7	—								事後保全	事後保全	事後保全
八潮消防署	H21	10	437					大規模改修 15年目					

特定年度への財政負担の過度な集中を避けるためのコストの平準化を実施します。

今後の取組方策

① 財政負担の安定化と平準化

中長期的な視点で本組合の消防力の全体像を把握し、今後は、限られた財源の中で効率的で効果的な消防行政の運営に一層努めてまいります。

② 施設更新の必要性和適正配置の推進

適正配置計画や保全計画に位置づけた施設整備に関する各種取組に取り組むとともに、特に先決すべき事案として重点事業に位置づけた各種施設整備のプロジェクトを着実に推進・実行してまいります。

③ 人材の育成と能力の向上

新たな組織体制の再編に合わせた適正な数の消防職員を計画的に採用・確保するとともに、女性職員や再任用職員等の活躍の場を広めるなど、今後、消防組織体制の中核となる消防職員の育成と能力の向上を図るための各種教育訓練等に取り組んでまいります。

草加八潮消防局 総務課 企画財政係
〒340-0012 埼玉県草加市神明二丁目2番2号
TEL:048-924-0119(代) FAX:048-928-8338
E-mail : soumu@soka-yashio119.jp
U R L : <https://soka-yashio119.jp>

《 令和2年2月 》

